

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドハート東海津北			
○保護者評価実施期間	令和 7 年 11 月 13 日 ~ 令和 7 年 11 月 28 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14人	(回答者数)	14人
○従業者評価実施期間	令和 7 年 11 月 26 日 ~ 令和 7 年 11 月 26 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 11 月 26 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達の土台作り	動き、言葉、学習、コミュニケーションがうまくできるようになるための発達の土台となる呼吸、感覚の発達をしっかり作れるよう「遊び」を通して補っている。「遊び」に楽しく夢中になれることで飽きずに通所ができ、発達につながっている。	子どもたちが興味を持ち楽しく取り組めるよう、「遊び」がさらに発展していくよう工夫している。また、季節の遊びも取り入れている。
2	運動トレーニング	遊びを通して体を自然に動かし、その中に発達のポイントを観察している。自発的な遊びや発達につながる遊びを提供し、呼吸、感覚、動き、姿勢を整える遊びを通して言葉、コミュニケーション、学習、認知、記憶、理解、細かな微細運動等を自然と行える体を作れるよう基礎強化を行っている。	粗大運動や微細運動等様々な体の動きができるよう遊びを工夫している。
3	ソーシャルスキルトレーニング	挨拶や片付け、友達とのコミュニケーション等、学校生活や社会に出たとき等、困ることが少なくなるよう支援している。友達や指導員とのやり取りの中で社会性、会話の合間、感情のやり取りを通して取得できるようにしている。	利用者の年齢に応じて様々な活動を取り入れていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	関係機関や他事業所との関わりが少ない	就学前に利用していた関係機関や放課後等デイサービスから障害福祉サービスへ移行の際の連携や地域の児童発達センターとの関わる機会がほとんどなく関わりが少ない。また、担当者会議等が開催されていない利用者が多く、他事業所との関わりも少ない。	必要に応じて関係機関との連携を図っていく。また、担当者会議が必要だと思われる利用者については相談支援事業所に発信していく。
2	父母の会や保護者会等保護者同士の交流の機会が少ない	親子イベントについて保護者にアンケートを行ったが「必要ない」との回答が大半であった為、開催を中止した。	保護者同士の交流の場について保護者に意見を聞きながら開催を検討していく。
3	ペアレントトレーニングや保護者向け研修会への参加が少ない	ペアレントトレーニングや保護者向け研修会を知らせているが、参加を希望する保護者がいない。	ペアレントトレーニングや保護者向け研修会の必要性を伝えながら、保護者が参加しやすい曜日や時間を検討する。